

2024年度 環境経営レポート

(2024年 8月1日～2025年 7月31日)



西国自動車株式会社

発行日 2025年8月30日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4～5
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟等の有無	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	8
これまでの環境活動の紹介	8

西国自動車株式会社

<企業理念>

西国自動車株式会社は、創業以来推進している6S(整理、整頓、清潔、清掃、躰、習慣)運動を継続し、次の基本理念を掲げています。

- 一、お客様に安心と安全を提供し常に頼られる存在であり続けます。
- 一、法律を遵守し、プロとして責任ある行動をします。
- 一、環境に配慮し、無駄のない経営を目指します。
- 一、良き企業市民として、地域社会の発展に貢献します。
- 一、一人ひとりの人権を尊重しあい、互いの研鑽の努力を致します。
- 一、SDGs(持続可能な開発目標)に取り組み、貢献します。



<環境経営方針>

1. 二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
2. 廃棄物排出量の削減に取り組みます。
3. 水使用量の削減に取り組みます。
4. 化学物質の適正な管理に取り組みます。
5. 環境配慮製品の企画に取り組みます。
6. 環境経営方針は、全従業員に周知します。
7. 環境関連法規などを順守します。
8. 環境経営の継続的改善を図ります。

改定日:2023年8月1日
代表取締役社長

小山 宏浩

取組の対象組織・活動

□ 登録事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者名

西国自動車株式会社
代表取締役社長 小山 宏治

(2) 所在地

本社・整備工場 大阪府箕面市小野原東1丁目1番41号
钣金・塗装工場 大阪府箕面市今宮1丁目7番22号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 小山 宏 TEL:072-729-8224
担当者 小堀 美治 TEL:072-729-8224

(4) 事業内容

軽自動車・普通自動車・大型バス・トラックの販売・整備及び钣金・塗装

(5) 事業の規模

売上高 58,759万円(2024年8月～2025年7月)
従業員 29名
延床面積 本社・整備工場 1394㎡ 钣金・塗装工場 990㎡

(6) 事業年度 8月～7月

□ 認証・登録の対象組織・活動

■ 全組織・全活動を対象範囲とする。

(1) 登録組織名

西国自動車株式会社

(2) 対象事業所

本社・整備工場、钣金・塗装工場

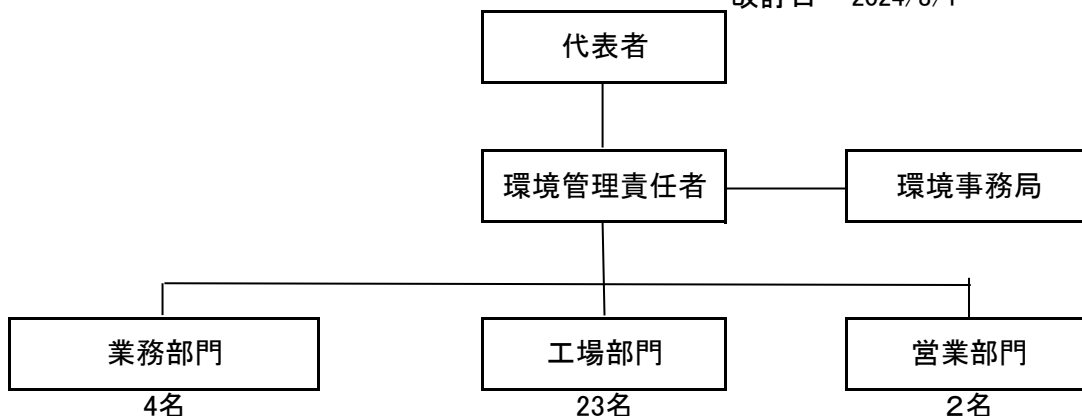
(3) 事業活動

軽自動車・普通自動車・大型バス・トラックの販売・整備及び钣金・塗装

西国自動車株式会社 環境経営システム組織図

作成日 2008/10/1

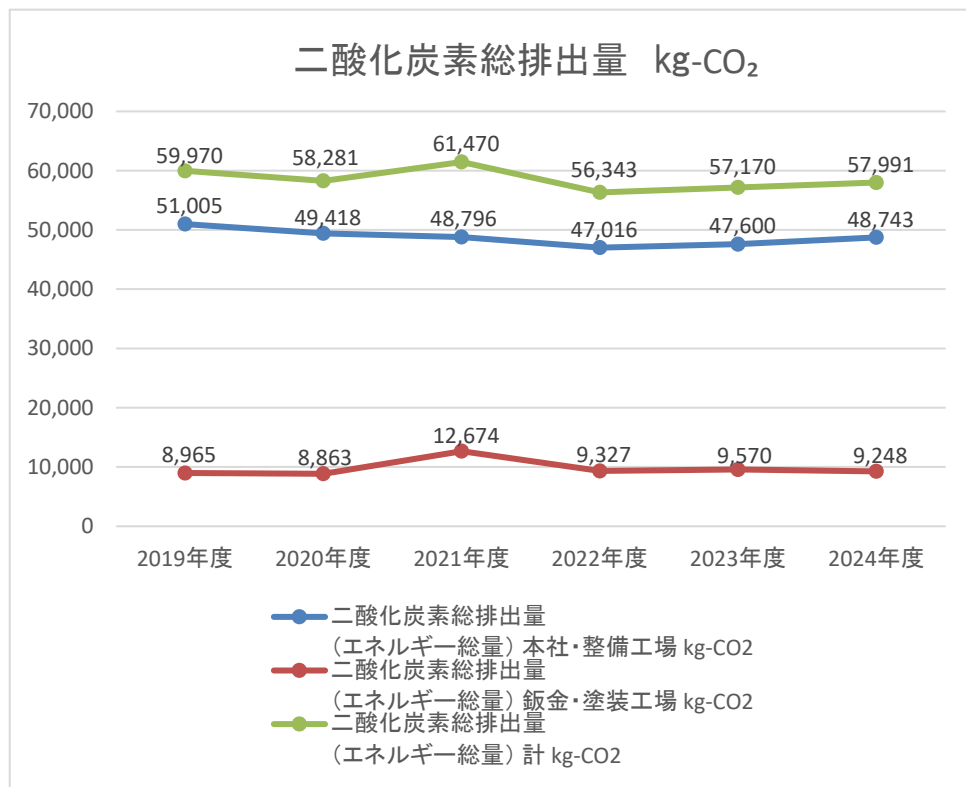
改訂日 2024/8/1

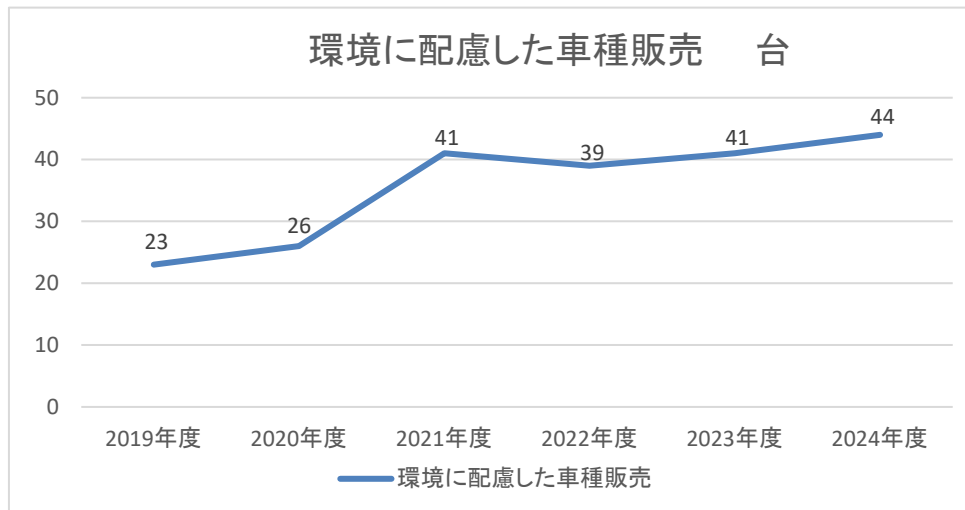
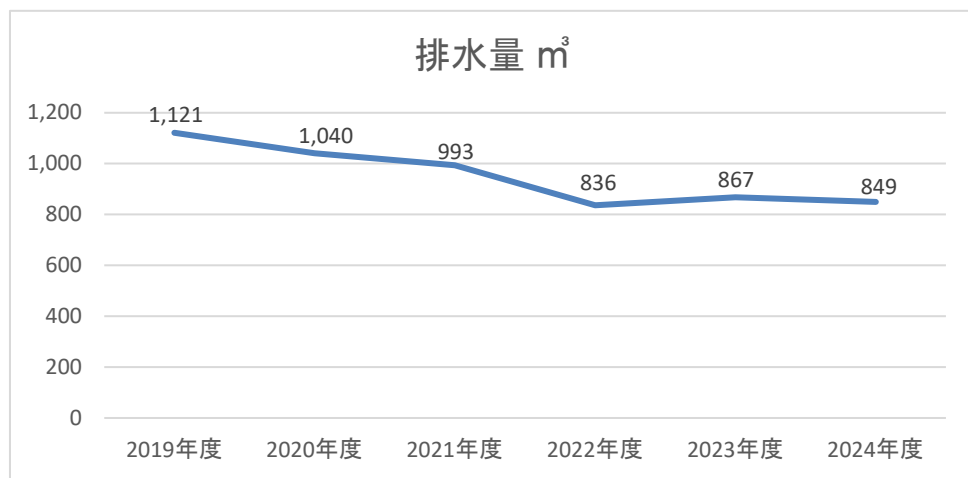
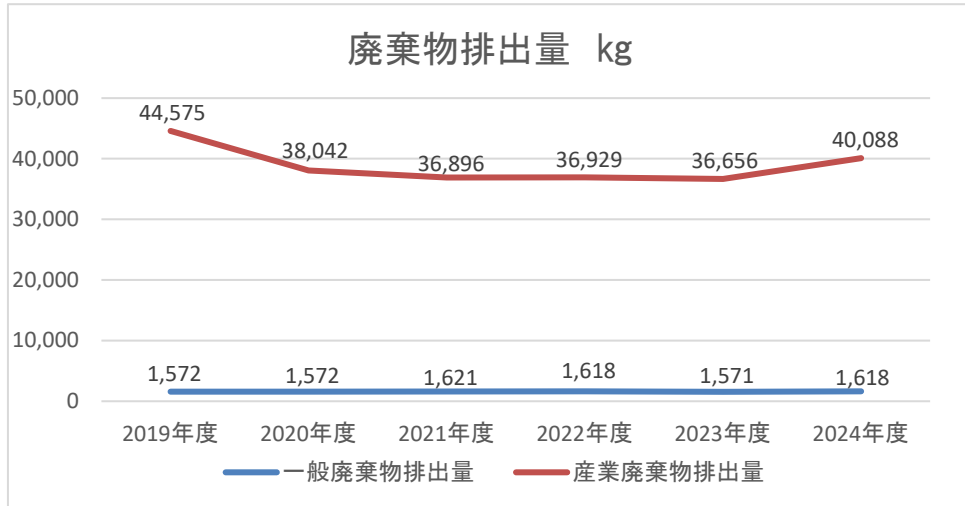


	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。 環境管理責任者を任命。 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 環境経営目標・環境経営活動計画書を承認。 代表者による全体の評価と見直し指示を実施。 環境経営活動レポートの承認。 経営における課題とチャンスの作成と定期的に見直し。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 環境経営目標・環境経営活動計画書を確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 環境経営活動レポートの確認。 従業員に対する教育訓練の実施。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 特定された緊急事態への対応のための手順書作成。テスト、訓練を実施、記録の作成。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局。 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。 環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

□ 主な環境負荷の実績

項目	二酸化炭素総排出量 (エネルギー総量)			一般廃棄物 排出量	産業廃棄物 排出量	水使用量	環境に配慮した車種 販売
	本社・整備工場	钣金・塗装工場	計				
単位	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg-CO ₂	kg	kg	m ³	台
2019年度	51,005	8,965	59,970	1,572	44,575	1,121	23
2020年度	49,418	8,863	58,281	1,572	38,042	1,040	26
2021年度	48,796	12,674	61,470	1,621	36,896	993	41
2022年度	47,016	9,327	56,343	1,618	36,929	836	39
2023年度	47,600	9,570	57,170	1,571	36,656	867	41
2024年度	48,743	9,248	57,991	1,618	40,088	849	44





□ 環境経営目標及びその実績

■ 本社・整備工場

削減率=(実績÷基準)×100% 向上率=(実績÷基準)×100%

項目	年度	(2021年度～ 2023年度) 3年間の平均	2024年度		2025年度	2026年度	2027年度
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
電力使用量の二酸化炭素 排出量削減	売上高(A) (百万円)	542	—	588	—	—	—
	本社・整備工場 電力使用量	54,493	53,948	52,758	53,403	52,330	52,313
	钣金・塗装工場 電力使用量	25,116	24,865	22,071	24,614	24,119	24,111
	電力使用量(B) (kWh)	79,609	78,813	74,829	78,017	77,221	76,425
	CO ₂ 排出量(kg- CO ₂)	33,356	33,023	31,353	32,689	32,355	32,022
	原単位(B/A) (kWh/百万円)	147	145	127	144	142	141
	削減率	基準年度比	99%	87%	98%	97%	96%
ガソリン使用量の二酸化 炭素排出量削減	ガソリン使用量 (C)(L)	7,664	7,587	8,610	7,511	7,434	7,357
	CO ₂ 排出量(kg- CO ₂)	17,792	17,603	19,975	17,425	17,247	17,069
	原単位(C/A)(L/ 百万円)	14.1	14.0	14.6	13.9	13.7	13.6
	削減率	基準年度比	99%	104%	98%	97%	96%
軽油使用量の二酸化炭素 排出量削減	軽油使用量(D) (L)	1,050	1,040	1,371	1,029	1,019	1,008
	CO ₂ 排出量(kg- CO ₂)	2,709	2,682	3,537	2,655	2,628	2,601
	原単位(D/A)(L/ 百万円)	1.9	1.9	2.3	1.9	1.9	1.9
	削減率	基準年度比	99%	120%	98%	97%	96%
灯油使用量の二酸化炭素 排出量削減	灯油使用量(E) (L)	1,750	1,733	1,185	1,715	1,698	1,663
	CO ₂ 排出量(kg- CO ₂)	4,362	4,314	2,951	4,270	4,227	4,141
	原単位(E/A)(L/ 百万円)	3.2	3.2	2.0	3.2	3.1	3.1
	削減率	基準年度比	99%	62%	98%	97%	96%
液化石油ガス使用量の二 酸化炭素排出量削減	液化石油ガス使用 量(F)(kg)	53	52	58	52	51	51
	CO ₂ 排出量(kg- CO ₂)	159	157	174	156	154	153
	原単位(F/A)(kg/ 百万円)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.09	0.09
	削減率	基準年度比	99%	101%	98%	97%	96%
CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量(F) (kg-CO ₂)	58,378	57,794	57,990	57,210	56,627	56,043
	原単位(F/A) (kg/百万円)	108	107	99	106	105	104
	削減率	基準年度比	99%	91%	98%	97%	96%
産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出 量(E)(kg)	36,827	36,459	40,088	36,090	35,722	35,354
	原単位(E/A)(kg/ 百万円)	69	68	68	68	67	66
	削減率	基準年度比	99%	99%	98%	97%	96%
水使用量の削減	本社・整備工場	736	729	665	721	714	707
	钣金・塗装工場	163	161	184	160	158	156
	合計 m ³	899	890	849	881	872	863
	削減率	基準年度比	99%	94%	98%	97%	96%
環境に配慮した車種 販売	台	40	41	44	42	43	44
	向上率	基準年度比	103%	110%	105%	108%	110%
化学物質の適正管理	毎月月初めに塗料用ペンキ類の管理状況をチェックした結果適正に管理出来ていた。						

・一般廃棄物は、焼却炉(ダイオキシン類対策特別措置法対象外)で燃やすため対象外。

・購入電力の排出係数:0.419kg-CO₂/kWh(関西電力2023年度調整後排出係数を採用)

□ 環境経営活動の取り組み計画と評価

$$\text{達成率} = (\text{目標} \div \text{実績}) \times 100\%$$

取り組み計画	達成状況(削減率)		評価(結果と今後の方向)		
電力使用量の削減 飯金・塗装工場含む ・空気圧縮機の空運転防止 ・不要時の消灯の徹底 ・ブラインドの管理 ・空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃) ・退社時、機械及び機器の電源OFFの確認	基準年度	147 kWh/百万円	達成 達成率 115% 1ヶ年の活動結果は、目標に対し115%と達成。節電意識は浸透している。次年度も不要時の消灯及びブラインドの管理を徹底して取り組む。		
	目標	146 99%			
	実績	127 86%			
ガソリン使用量の削減 ・安全運転の徹底 ・アイドリングストップの徹底 ・カーエアコンの設定温度を抑える	基準年度	14.1 L/百万円	未達成 達成率 96% 1ヶ年の活動結果は、目標に対し96%と未達成。対象車両の増加や酷暑での安全運転の徹底により増加。次年度もエコタイヤの装着推進などで取り組む。		
	目標	14.0 99%			
	実績	14.6 104%			
軽油使用量の削減 ・安全運転の徹底 ・アイドリングストップの徹底 ・カーエアコンの設定温度を抑える	基準年度	1.9 L/百万円	未達成 達成率 82% 1ヶ年の活動結果は、目標に対し82%と未達成。対象車両の増加や酷暑での安全運転の徹底により増加。次年度もエコタイヤの装着推進などで取り組む。		
	目標	1.9 99%			
	実績	2.3 121%			
灯油使用量の削減 ・焼却炉の空気比を調整 ・配管の断熱補強	基準年度	3.3 L/百万円	達成 達成率 142% 1ヶ年の活動結果は、目標に対し142%と達成した。次年度も、焼却炉の効率化を徹底して取り組む。		
	目標	3.3 99%			
	実績	2.3 70%			
液化石油ガス使用量の削減 ・安全運転の実施 ・配管の断熱補強	基準年度	0.10 kg/百万円	達成 達成率 100% 1ヶ年の活動結果は、目標に対し100%と達成した。次年度も、焼却炉の効率化を徹底して取り組む。		
	目標	0.10 99%			
	実績	0.10 100%			
CO2排出量の削減 ・二酸化炭素の排出量を抑える	基準年度	108 kg/百万円	達成 達成率 108% 1ヶ年の活動結果は、目標に対し108%と達成した。二酸化炭素の排出を抑える意識を向上させる。次年度も意識向上を図って取り組む。		
	目標	107 99%			
	実績	99 92%			
産業廃棄物排出量の削減 ・分別の徹底 ・刷り直し不良撲滅 ・リサイクル先の開拓 ・作業指示ミスの撲滅 ・裏紙使用	基準年度	69 kg/百万円	達成 達成率 100% 1ヶ年の活動結果は、目標に対し100%と達成した。次年度も分別の徹底、ペーパーレスに向けて努力する。		
	目標	68 99%			
	実績	68 99%			
水使用量の削減 飯金・塗装工場含む ・レバー栓の取り付け ・配管の漏水防止 ・洗車、工場清掃時の節水	基準年度	899 m ³	達成 達成率 105% 1ヶ年の活動結果は、目標に対し105%と達成した。次年度も節水意識を定着させていく。		
	目標	890 99%			
	実績	849 94%			
環境に配慮した車種販売 ・エコ車の販売 ・イベント、展示会の開催 ・エコ整備の推進	基準年度	40 台	達成 達成率 107% 1ヶ年の活動結果は、目標25台に対し44台と達成した。次年度も営業活動を積極的に行う。		
	目標	41			
	実績	44 110%			
化学物質の適正管理(塗装用ペンキ類)	適正に管理出来ていた。次年度も継続実施する。				

□ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守確認
廃棄物処理法	産業廃棄物収集、処理業者との契約、許可書(写)保管、保管基準、マニフェストの管理	遵守
家電リサイクル法	廃棄時小売店か運搬業者に「家電リサイクル券」と収集運搬料金を払って引き渡す	遵守
資源有効利用促進法	指定再資源化製品や指定再利用促進製品に関し、Reduce、Reuse、Recycleに協力する	遵守
騒音規制法・振動規制法	空気圧縮機(7.5kW)の特定施設の届出、規制基準	遵守
フロン排出抑制法	フロン回収業者へ引き渡し(依頼書・引取証明書)業務用空調機簡易点検、記録保存	遵守
自動車リサイクル法	引き取り業者登録等	遵守

* 焼却炉は、ダイオキシン類対策特別措置法対象外: 燃焼能力49kg/火床面積0.49㎡で該当せず。環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

遵守確認日: 2025年8月1日 環境管理責任者 小山宏

□ 代表者による全体評価と見直し・指示

1ヶ年間取組んだ結果、気温変化の影響で業務に支障をきたしたが、本来業務の1つである環境に配慮した車種販売は、目標を達成した。

一方、CO₂排出量(電力、灯油、液化石油ガス使用量)の削減は安全運転の徹底やエコタイヤの装着により効果をあげている。またガソリン、軽油使用量の削減は、対象車両の増加による影響で達成出来なかった。

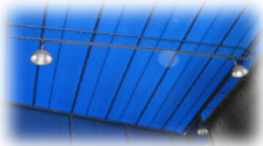
エコアクション21の活動も17年目に入り環境活動への取り組みは、組織全体に浸透してきた。

さらに定着化を図るため朝礼等で目標の達成状況を説明すると共に、各人の役割の再認識を図る。

項目	見直しの必要性(要、否)	必要に応じて変更指示
環境経営方針	否	変更なし
環境経営目標	否	変更なし
環境経営計画	否	変更なし
実施体制	否	変更なし
その他の要素	否	変更なし

実施日: 2025年8月30日 代表取締役社長 小山宏治

①水銀灯をエコセラⅡ(GS YUASA製)に交換



②充電器の無料利用



③エコタイヤ装着の推進

④エンジン添加剤注入の推進

⑤事務室内の省エネルギー型照明器具の導入

⑥大型車両の昇降装置(ツインリスト)の増設

